



Release

フランクフルト・アム・マイン

2020年2月10日

ドイツ銀行、その他 Tier 1 証券を発行予定

ドイツ銀行（銘柄コードXETRA: DBKGn.DE/NYSE: DB）は、その他Tier 1 (AT1) 資本に算入可能な証券を発行予定である旨を発表しました。当該証券の発行総額は、ベンチマーク債相当の少なくとも10億米ドルとなる見込みです。この発行は、監査役会会長統括委員会の承認に基づき、取締役会により決定されました。

この発行は、その他 Tier 1 (AT1) 資本商品の水準をリスク・ウェイトド・アセット (RWA) の1.5%以上（完全適用ベース）に保つことにより、当行の自己資本規制の充足をさらに推し進めます。また、この発行は2020年のレバレッジ比率の目標である4.5%（完全適用ベース）の達成を後押しするものになります。

今回のAT1証券は、当行の普通株式等Tier 1資本比率が5.125%の水準を下回った場合に元本削減が行われる条項を有し、適用ある自己資本規制に従い、その他の損失吸収条項が付されています。この証券の発行の決定は、2018年の年次株主総会における承認に基づくものです。各証券の券面額は20万米ドルです。今回の募集では、ドイチェバンク・セキュリティーズ・インク（Deutsche Bank Securities Inc.）が単独ブックランナーを務める予定です。

当該証券は、米国において登録が行われます。

ドイツ銀行について

ドイツ銀行は事業法人、各国政府、機関投資家、中小企業、および個人といった顧客に対し、商業銀行、投資銀行、リテール・バンキング、トランザクション・バンキング、および資産運用の商品ならびにサービスを提供しています。ドイツ銀行はドイツ有数の銀行であり、欧州地域に強固な地位を築いているほか、米州およびアジア・太平洋地域においても大規模な事業基盤を有しています。

本リリースには、将来の事象に関する記述が含まれています。将来の事象に関する記述とは、歴史的事実ではない記述であり、ドイツ銀行の考えや予想、およびその基礎となる前提が含まれます。これらの記述は、ドイツ銀行グループの経営陣が現在入手可能な予定、推定および計画に基づいています。従って、将来の事象に関する記述は、あくまで当該記述がなされた日現在のものであって、当行グループはこれらの記述に関して、新しい情報や将来生じた事象があっても、これを更新して公表する責任は負いません。

将来の事象に関する記述は、その性質上リスクおよび不確実性を含みます。従って、いくつかの重要な要因が作用して、実際には将来の事象に関する記述に含まれる結果とは大きく異なる結果となる可能性があります。これらの要因には、ドイツ、ヨーロッパ、米国および当グループが収益の相当部分を上げ、資産の相当部分を有するその他の地域における金融市場の動向、資産価値の推移および市場のボラティリティ、借り手または取引相手による将来の債務不履行、当グループの経営戦略の実施、当グループのリスク・マネジメントの方針、手続および方法への信頼性、ならびに米国証券取引委員会（SEC）への情報開示に関連するリスク等が含まれます。このような要因については、SECに提出した当グループの2019年3月22日付年次報告書（Form 20-F）の「リスク・ファクター」の表題のもとで詳しく記載されています。当該報告書の写しは、請求により入手可能であり、またwww.db.com/irからダウンロードすることができます。

本書面は、本年2月10日にドイツ銀行AG（本店：独フランクフルト・アム・マイン）が発行したリリース（英文）の日本語訳です。当該リリース（日本語訳）は、情報提供を目的としたもので、ドイツ銀行AGの証券に対する投資勧誘を目的として作成されたものではありません。